サステナビリティビジョンとマテリアリティ

ツムラグループにおける 「サステナビリティ経営 | とは、 「サステナビリティビジョン」の体現に他なりません。

自然の恵みである牛薬を活かす事業を進化させ、未来 へつなげていく私たちだからこそ、自然環境の変化や危機 に最も敏感な企業でなければなりません。そして、自然の 恵みを最大限に活かし、人々の健康と医療に貢献し続け ること――サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、 未来へ。」にはその想いが込められています。漢方バリュー チェーンを通じて、持続可能な人間・社会・地球環境の 実現を目指します。生薬はもとより水・空気に至るまです べてを自然に返す、当社グループならではの循環型社会に 向けて取り組んでいきます。

究極的に成し遂げる事業の志「一人ひとりの、生きるに、 活きる。」を掲げ、経営理念「自然と健康を科学する」を標 榜する当社グループのサステナビリティビジョンは、長期 経営ビジョンを通じて具体的な活動に落とし込まれていま

長期経営ビジョン「TSUMURA VISION "Cho-WA" 2031 | は「"Cho-WA" (調和) のとれた未来を実現する企 業へ | をテーマとし、3つの"P"を通じて、心と身体、個人 と社会、漢方医学と西洋医学の"Cho-WA"(調和)のとれ た未来を目指しています。

マテリアリティの見直し

当社グループは、事業活動を通じて地球規模の課題解決 に貢献し、企業価値の向上を実現するために、2023年9月 にパーパスを起点とした重要課題 (マテリアリティ) を特定 し直しました。

今回の見直しは、これまでのボトムアップ型の策定プロ セスから、CEOのコミットメントに基づくトップダウン型に 変更することで、社会価値・経済価値の創出に向けたストー リーを社内外にわかりやすく伝えることを目的としています。 今後は、マテリアリティを軸とした情報開示を進めることで、 ステークホルダーとの対話と共創を促進していきます。

サステナビリティビジョン ――自然と生きる力を、未来へ。

ツムラグループの新マテリアリティ

ツムラグループのマテリアリティ(重要課題)は、パーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」、経営理念「自然と健康を科学する」の 体現に向けた事業への取り組みそのものを指します。当社グループの事業から創出される「自然」と「健康」に関わるすべての価値は、 社会との共通価値の創造につながります。



新マテリアリティの策定プロセス



*経営学者マイケル・ポーターが提唱するCSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)を実現する3つの方法(レパー)のこと(①次世代製品・サービス創造、②パリューチェーン全体の生産性改善、③地域生態系の構築)

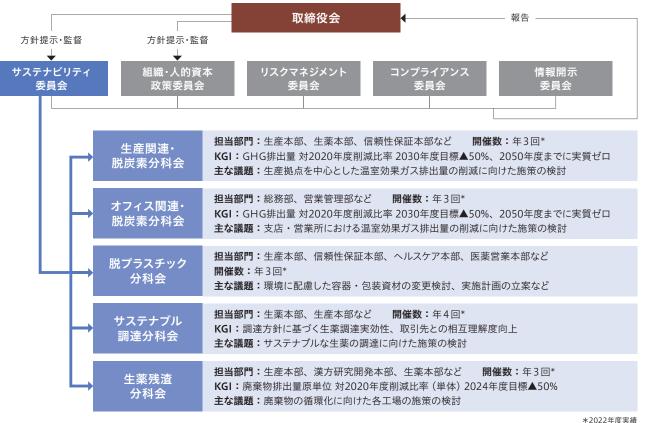
サステナビリティ推進体制

気候変動等の地球環境問題への配慮、人権の尊重等、 サステナビリティに関する課題への対応は、重要な経営課 題であると認識しています。取締役会直下のサステナビリ ティ委員会では、このような課題を具体的な戦略に反映す べく、全体の方向性や活動等を検討、モニタリングを行う とともに、委員会配下に5つの分科会を設置し、中長期 環境目標等に基づいた各本部の知見や経験、研究成果を 部門横断的に検討しています。また、審議の活性化に向 けて、各分科会の成果を委員長(杉井Co-COO)に定期 的に報告する機会を設けるなど、サステナビリティ活動の 実効性を高めています。社会環境の変化や時代の要請を

踏まえて柔軟に対応することで、実効的なサステナビリティ 活動を追求・推進していきます。

サステナビリティ委員会の主な議題(2022年度)

- ・TCFD開示案の審議・承認
- ・サステナビリティ憲章の策定
- ・中長期環境目標の進捗報告
- ・マテリアリティ更新に向けた議論のほか、各種イニシ アチブへの賛同報告やCDPの結果報告、地域貢献活 動の報告など



19 TSUMURA Integrated Report 2023 20

マテリアリティと経営戦略KGI/KPI

	マテリアリティ		第1期中期経営計画の戦略課題	指標(各組織のKGI/KPI)	2022年度実績	2024年度目標値
自然	持続可能な原料調達(生薬の栽培化研究等)		①医師一人ひとりにあった 漢方ソリューションの提供による 漢方市場の継続的拡大	国内事業 売上高	124,698百万円	売上高CAGR5%(2022 ~ 2024年度)
				医療用漢方製剤10処方以上を処方する医師の比率	32%	50%以上
	資源の循環利用(水・生薬残渣の再資源化)			4コマ以上の漢方医学教育を実施している大学数	78大学	82大学
				メディカルサイトのユーザー数	非開示	非開示
				ディテールインパクト件数	477 万件	570万件
	生物多様性の保全(森林・土壌・水源の涵養)		② KAMPOmics による漢方の	漢方製剤の診療ガイドライン収載数(タイプB以上)	99件	130件
			エビデンス構築と未病の科学化の推進 ③中国における生薬・飲片の売上拡大と 中成薬事業への参入	米国TU-100開発進捗	後期第 相臨床試験 実施中	_
	気候変動対策(カーボンニュートラルの実現)			中国事業 売上高	153億円	売上高CAGR30% (2022 ~ 2024年度)
				中成薬企業のM&A	複数社と交渉中	M&A 完了
健康	天然物由来の高品質な医薬品・製商品への アクセス拡大		④漢方バリューチェーン改革に向けた IT基盤刷新と生薬選別、製造工程に おけるAI・ロボット活用の推進	年間生産計画達成率	非開示	非開示
	Γ Σ Σ Σ Σ Σ Σ Σ Σ Σ Σ			工場における労働生産性(2021年度比)	102%	120%
	漢方の標準治療の拡大とエビデンスの構築			理念浸透サーベイの平均点(5点満点)	4.06点	4.00点以上を維持
				健康経営優良法人認定取得の進捗率	優良法人認定取得に向けて準備中	優良法人認定取得
	最先端技術による漢方の個別化治療への取り組み		⑤組織資本・人的資本による 価値の創造と働きがい改革の推進	女性採用者比率	44%	50%
				キャリア採用者比率	55%	40%
	一人ひとりのライフステージにあった健康への貢献 (治療・未病・養生 (予防))			エンゲージメントアンケート 総合満足度(5点満点)	3.58点	3.90点
				「ツムラ調達方針」に基づいた生薬調達の実効性	「ツムラ調達方針」の運用開始	生産団体への確認実施50%
	コーポレート・ガバナンスの進化・深化		サステナビリティビジョンの 実現に向けた取り組み (中長期環境目標)	野生生薬の使用品目数の削減(2020年度比)*1	1品目削減	1品目以上削減
経営基盤の 強化				プラスチックの使用量(2020年度比)*2	_	▲10%
				GHG排出量(2020年度比)*3	+ 12.9%	▲3%
	多様な人財の活躍			エネルギー原単位(前年度比)*4	▲ 4.8%	▲1%
				取水量原単位(2020年度比)*5	+ 6%	▲10%
	潜在能力を「対話」により引き出す企業文化の醸成	1/		產業廃棄物排出量原単位(2020年度比)*6	_	▲ 50%

サステナビリティ・ターゲット2031

21

Target 2031 第1期中期経営計画 第2期中期経営計画 第3期中期経営計画 主な取り組みテーマ 2022~2024年度 2028~2031年度 2025~2027年度 ガス▶新燃料への切り替え 太陽光発電導入 温室効果ガス 再生可能エネルギーへの切り替え 排出量 50%削減 さらなる省エネ化(使用原単位低減) 全部代替 新素材の採用 環境対応型 部分代替 包装資材の一部 _____ ■ モノマテリアル化 ■ 脱プラスチック化 包装資材への転換 植物由来またはリサイクル素材化 水の循環利用促進 水源保全への取り組み 水・廃棄物の 循環利用の実現 高付加価値利用 循環化 生薬残渣 工場内の燃料 ■燃料、素材原料 利用・加工方法の確立 生薬産地での肥料 ■ 飼料化など

社会課題解決への取り組み

#OneMoreChoice プロジェクト

ツムラは、誰もが不調を無理に我慢することなく、心 地よく生きられる健やかな社会を目指し、2021年から #OneMoreChoice プロジェクトを進めています。

自社調査に基づく課題解決に取り組んでおり「女性の 8割が隠れ我慢*7をしている」「違いを知ることからはじ めよう」というメッセージとともに実施した活動は、生活 者の方々からSNSを中心に多くの共感の声をいただき ました。また社内では、隠れ我慢のない企業を目指して 「#OneMoreChoice アクション」を2022年4月に施行。 休暇制度変更など、社員の健康課題を解決する取り組み も進めています。

組み健やかな社会の 実現に向けて活動を 進めていきます。

*7:隠れ我慢とは、心身の不調を我慢して仕事や家事を行うこと。株式会社ツムラの登録商標です *8:2023年7月時点 *9:Carellege(ケアレッジ)は、当社によるCareとCollegeの造語です

これらの活動を通して培った知見を、隠れ我慢のない社 会の実現に活かすため「#OneMoreChoice 研修」を開発 し、2022年9月から無償提供を開始しました。当社社員が 講師として企業・団体や大学等へ出向き、これまでに16回*8実 施しています。2023年4月からは、大学生が隠れ我慢をしな い環境づくりを目指した取り組みである「Carellege Action」*9 を4大学からの賛同を得てスタート。無料で専門家に健康 相談できる機会の提供なども始めています。

今後も、企業や大学等と連携しながら活動の輪を広げ、



TSUMURA Integrated Report 2023 22